

(資料3)

今後の専門部会における主な論点

平成28年7月1日

1 データについて

- (1) 専門部会において、今後、さらに議論、収集すべきデータ
 - ・ 医療との関係性
 - ⇒ 医療費との関係性、合計した場合の分析等
 - ⇒ 健診データなどとの関係性
 - ・ サービス付き高齢者向け住宅、有料老人ホーム等の実態
 - ・ 住宅改修費
 - ・ 居宅サービスの実態
- (2) 各市町村ですでに取り組んでいる分析や、今後、市町村に協力を依頼するデータ

2 求められる当面の対応策

- (1) 介護予防の推進
 - ① 地域ケア会議の効果的な開催
 - ・ 専門職と協働の上、介護予防ケアマネジメントを実施
 - ② 地域づくりによる介護予防の推進
 - ・ 総合事業の着実な実施
 - ③ 適切なケアプラン作成、ケアマネジメントに向けた取組
- (2) 要介護認定の平準化
- (3) 給付の適正化
 - ・ 各市町村で効果を上げている給付適正化の取組等の情報共有
 - ⇒ 集中減算 など

3 今後、検討していくべき対応策

4 今後の専門部会の進め方

- ・ 3～4回を想定している専門部会の合間に、専門部会に参加している市町村担当者との勉強会を開催してはどうか。

今後のスケジュール（案）

7月1日 第1回専門部会

- ・大阪府の現状と当面の対応策について議論

8月下旬～9月上旬 第1回 府・市町村勉強会

- ・第2回専門部会に向けた議論

9月中旬又は10月中旬 第2回専門部会

11月 第2回 府・市町村勉強会

12月 第3回 第3回専門部会

- ・報告書とりまとめ

⇒ 平成29年1月 大阪府高齢者保健福祉計画推進審議会への報告

⇒ 第7期 大阪府高齢者計画にも適宜反映